



丸亀市中学校総合体育大会

6月定例会 1日～21日

- 特集1 ワクチン接種 2
- 特集2 石垣復旧 3
- 定例会・議案の内容 4
- 質疑・永年勤続表彰・特別委員会 5
- 一般質問 6～14
- 議会の動き・広報広聴委員会 14
- 委員会審査 15
- 修正可決・審議結果・編集後記 16



新型コロナワクチン接種

大切な人のために

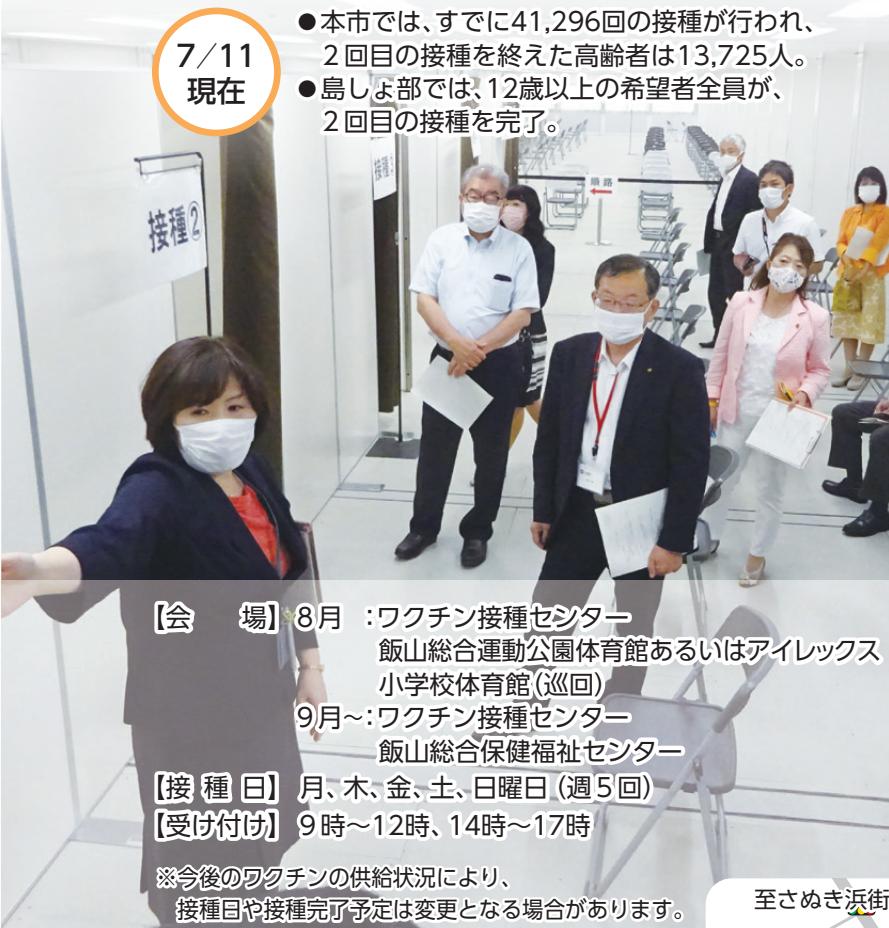
現状と今後の予定について、市から報告を受けました。

- 7月1日、丸亀ワクチン接種センター開設。
- 一日最大1,200人の接種が可能。
- 香川県初の大型会場。

6/29(火)
現地視察



かかりつけ医でも
接種できます



【会場】8月：ワクチン接種センター
飯山総合運動公園体育馆あるいはアイレックス
小学校体育馆(巡回)
9月～：ワクチン接種センター
飯山総合保健福祉センター

【接種日】月、木、金、土、日曜日(週5回)
【受け付け】9時～12時、14時～17時

※今後のワクチンの供給状況により、
接種日や接種完了予定は変更となる場合があります。

ワクチン接種 お問い合わせ

丸亀市新型コロナワクチン
接種相談専用ダイヤル
0877-21-2091

(8:30～17:00、土・日曜、祝日含む)

接種後の 副反応など お問い合わせ

香川県新型コロナワクチン
専門相談コールセンター
0570-009-550

(9:00～17:00、土・日曜、祝日含む)

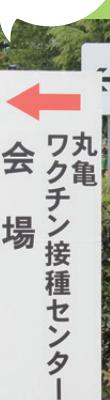
※聴覚の障がいなどで電話での相談が

難しい方は、**FAX052-533-3891**
をご利用ください。

総合運動公園
多目的広場内
金倉町1010番地1



1～4
に案内板



目印に!



地中に埋まっていた角石(すみいし)にも多くの亀裂があり、石垣が崩れた時の衝撃の大きさがわかる。

上の石を固定するように、鉤型に加工した角石が現れた。丸亀城では初めて。

(注1) 元号から「正保城絵図」と呼ばれています。
(注2) おびぐるわいしがき
(注3) ひつじさるやぐらあと



丸亀城三の丸崩落石垣復旧

地中深く新たなる石垣が!!

現状と今後の方針について、市から報告を受けました。

- 1645年頃、丸亀藩が徳川幕府へ報告した丸亀城の絵図^(注1)に描かれたと思われる石垣が見つかる。
- 今回の発見で、帯曲輪石垣^(注2)が江戸時代の初めに拡張されたことがわかる。
- 坪櫓跡^(注3)の石垣が一部修理されたことも明らかとなる。

5/25(火)
現地視察



詳しくは
市ホームページで

6月定例会 1日～21日(21日間)

1日

- ・市長の所信表明
- ・議案第39号～44号
- 〃 提案理由の説明
- ・議案第45号～47号
- 〃 提案理由の説明・質疑・討論・採決
- ・議案第48号
- 〃 選挙

14日

- ・教育民生委員会
- ・都市環境委員会

15日

- ・総務委員会

21日

- ・議案第39号～44号
- 〃 委員長報告・討論・採決

3日

- ・議案第39号～44号
- 〃 質疑の後、各常任委員会に付託
- ・議案第49号～51号
- 〃 提案理由の説明・質疑・討論・採決

4、7、10、11日

- ・市民会館整備特別委員会の設置

議案の内容

市長から、こんな提案がありました。

▼議案第39号 一般会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルス感染症対策費や農業施設整備に係る農業振興費など、65億1641万3千円追加する。

▼議案第40号 モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)

▼議案第42号 附属機関設置条

人事案件

今期定例会に提案された人事案件は次のとおり(敬称略)。

▼副市長

飯野町 横田 拓也

▼監査委員

識見を有する委員

飯山町 田村町

飯山町 駒家町

綾歌町

綾歌町

飯野町

今津町 廣瀬 義文

▼選挙管理委員

飯山町 佐藤めぐみ

田村町 直江 安俊

綾歌町 十番丁 丸尾 良一

川西町 神崎 幸治

郡家町 小橋 節子

飯山町 山本 久美子

綾歌町 北山 正善

飯野町 横田 拓也

飯野町 加藤 正員

綾歌町 加藤 正員

飯野町 加藤 正員

▼固定資産評価員

飯野町 加藤 正員

▼議案第43号 特別職の職員で
非常勤のものの報酬及び費用
弁償に関する条例の一部改正

下水道事業の経営安定化を図
り、継続的なサービスの提供を
目的に、附属機関として下水道
事業運営審議会を設置する。

併せて、当該委員への報酬や
費用弁償の支給について、所要
の改正を行う。

▼議案第44号 市道路線の廃止
及び認定

市営上分団地跡地の整備に合
わせ、市道上分団地1～5号線
を廃止し、新たに土器上分線を
市道に認定する。

▼議案第45号 監査委員(識見
を有する委員)選任の同意

▼議案第46号 監査委員(議員
選出)選任の同意

▼議案第47号 公平委員会委員及
び同補充員の選挙

選任の同意

▼議案第48号 選挙管理委員及
び同補充員の選挙

選任の同意

▼議案第49号 一般会計補正予
算(第3号)

任の同意

▼議案第50号 副市長選任の同意

任の同意

▼議案第51号 固定資産評価員選
任の同意

任の同意

質疑

議案の疑問点について、
4名の議員が聞きました。

特別定額給付金 給付事業

Q 大前議員 給付金ではなく、商品券などによる経済対策として対応できなかつたのか。

A 産業文化部長 市長が対

話した市民の多くが現金給付を望んでいた。コロナ禍での配布や印刷等に要する期間、換金手数料等の事務経費などを総合的に判断し、現金給付に至つた。

Q 内田議員 一律現金給付の成果を検証する方法は。
A 産業文化部長 丸亀商工

連携し、事業の実施後、会員事業所のうち、飲食店など小売店を中心に調査をお願いする予定である。

また、有識者から意見をいただき、検証したい。

Q 中谷議員 財源として、一般会計の基金を検討したのか。

A 総務部長 一般会計基金からの繰り入れも検討したが、活用は難しい。約166億円の残高のうち、150億円は特定目的基金であり、財政調整基金は16億円である。

今後の財政運営やコロナ感染症の収束が見えない中、基金は将来の財源として留保する必要があり、給付金の財源にはしていいない。

城東小学校の改築

Q 横川議員 城東小学校は、過去に浸水被害に遭つている。改築に当たり、建設場所の検討は。

A 教育部長 県では、浸水被害対策として、古子川の越水に対するかさ上げ工事を実施している。

地元コミュニティや学校関係者、専門家と検証を行い、議論を重ねたい。建設場所をはじめ、校舎の配置、設備など、合意形成を図りながら、地域に愛される学校となるよう努めたい。

永年勤続8名に表彰状を伝達

第83回四国市議会議長会定期総会において、表彰規定に基づき、8名の議員が表彰状を授与されました。今期定例会で表彰状を伝達し、その功績をたたえました。

▼四国市議会議長会

議員在職16年
三宅 真弓

議員在職12年
多田 光廣

議員在職8年
加藤 正員

議員在職8年
神田 泰孝

議員在職8年
水本 徹雄

議員在職8年
岡田 匡文

議員在職8年
川田 剛

議員在職8年
真鍋 順穂



市民会館整備特別委員会を設置

○委員長 ○副委員長

◎内田 俊英 ○横川 重行 守家 英明 中谷 真裕美
東 由美 香川 勝 川田 匡文 多田 光廣

一般質問

16人の議員が市の考えを問う

質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

廣田 勝也	香川 勝	角野 仁美
①緊急通報装置②力 一ブミラー③垂水橋	①農業経営支援②D Xデジタルトランス	①子育て支援②健康 づくり③自動体温計 の設置④市長の選挙 公約
大西 浩	渡邊 一馬	中谷真裕美
①市長の選挙公約 ②新型コロナ感染症 対策	①介護職場②学校給 食の有機無農薬化③ 市長の選挙公約	①市長の政治姿勢② ワクチン接種とPCR 検査③医療費の無料化
山本 直久	内田 俊英	東 由美
①財政・行政改革② ワクチン接種③事業 者支援④中心市街地 ⑤総合運動公園	①職員改革②マルタ ス③犬猫・ペット④ ごみの不法投棄、た め池⑤手話言語条 例、コミュニケーション 条例	①コロナ支援策②再婚 家庭の子育て支援③ 離島施策④広域行政 策
横川 重行	神田 泰孝	
①市長の選挙公約② 農業	①ワクチン接種②児 童虐待防止③新庁舎 ④6次産業農水産業	
竹田 英司	守家 英明	
①奨学金制度②敬老 事業③ため池の安全	①市長の選挙公約② 自治会への加入促進 ③生涯学習	
武田 孝三	水本 徹雄	
①地域公共交通と移 動者支援②市道・農 道③大手町4街区の 再編整備	①マルタス②まちか ど救急ステーション ③金倉南北線④ヤン グケアラー⑤近隣自 治体との交通アクセ ス⑥市長の選挙公約	
三宅 真弓		
①コロナ緊急経済対 策②ゼロカーボンシ ティ宣言		

一般質問

通行の安全を



廣田勝也議員



歩道や自転車道はなく

A 市長 垂水橋の幅員と通行量からすると、安全上、歩行者や自転車通行者と車の分離が望ましく、必要である。白線での分離など、可能な安全対策を講じるよう県に要望したい。

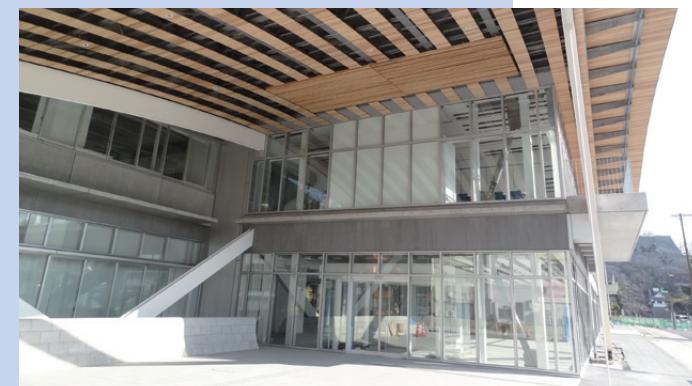


また、こうした現状や劣化状況、防災上の観点から、今後、抜本的な改修が必要であると認識している。地元コミュニティの意向も踏まえ、早期の事業化に向け、機会あるごとに県に強く要望していきたい。

選挙公約 市長の認識は



大西 浩議員



新市政 これからの丸亀は

A 市長 選挙公約とは、市民との大切な約束であり、誠心誠意その実行に向けて尽くさなければならぬ。しかし、現在、本市は新型コロナウイルスや変異株の猛威にさらされ、市民のワクチン接種を早急かつ確実に実施しなければならない状況に直面している。コロナ禍の長期化や深刻化

の懸念が高まる中、コロナと闘い、市民の安心につなげていく予算がさらに必要であり、将来の財政に禍根を残さない、現時点で考えられる最大限の額として5万円給付の提案に至つた。これから進めていく市政の中で、市民の理解や信頼を得られるよう、今後できる限り努力していきたい。

A 市長 中心市街地では、地区都市再生整備計画に基づくハード整備や商店街でのソフト事業により、少し明るい兆しも見えるが、大手町4街区の賑わいづくりを周辺にも波及させ、地区全体の魅力向上につなげなければならない。そのためには、民間の力が十分に発揮される環境づくりが重たい。

活性化への施策は 中心市街地



山本直久議員



まちにゆとりと賑わいを

本市の中心市街地では、市道丸亀駅原田線の幅員再配分無電柱化や、富屋町のこんぴら街道を絡めた整備事業など、インフラ整備が進められている。また、空き店舗・空きオフィス等についても、活用促進補助事業により開業者

も増加しているが、活性化への課題は多い。今後、どのように進めていくのか。

要であり、民間企業や大学などを連携し、中心市街地の活性化に取り組みたい。

また、国が進める「まちなかウォーカブル推進事業」を活用し、まちなかにゆとりと賑わいを創出するまちづくりなど、新たな取り組みも模索していく。

ボートレース事業 繰出金の基準は

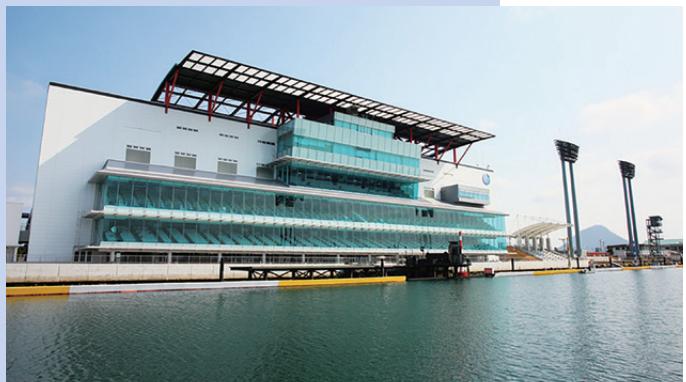
Q



横川重行議員

A モーターーボート競走事業
管理者 ボートレースまるがめでは、収益を確保し、市の財政に安定的に繰り出すことにより、公共の福祉に寄与することを念頭に事業を行つてゐる。昭和27年の初開催から令和2年度までの68年間で、約1377億円を一般会計へ繰り出し

市長の選挙公約では、全市民への一律現金給付によるコロナ緊急経済対策として、ボートレース事業の余剰金を財源とされている。一般会計へボートレース事業会計から繰り出す際の基準は。



事業会計からの繰出金 ルールは?



Q



竹田英司議員

昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により、大学などを中途退学した学生1367人、休学者4434人の調査結果がある。学ぶ意欲のある若者を支援するため、市独自の奨学金制度を導入してはどうか。地元企業PR事業などと併せて、担当部課を超えた取り組みが求められるが、いかがか。

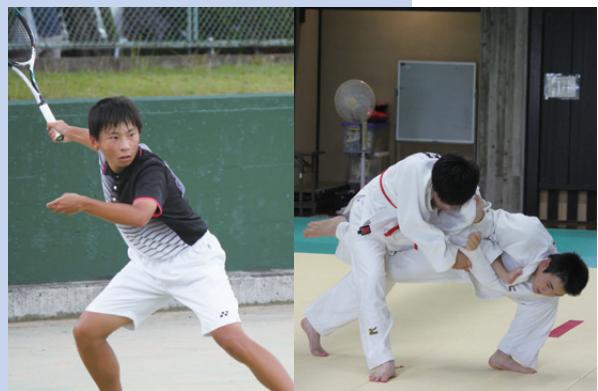


学びを支え 共に成長を

A 教育部長 近年、国や県では、奨学金・支援金制度が充実してきている。高校生を対象とした返還不要の授業料支援や高校生等奨学給付金制度、住民税非課税世帯等の大学生を対象とした授業料や入学金の免除・減額に加え、給付型奨学金なども整備されている。

市内の中学校では、高校入学前の周知に努め、制度を活用しやすい環境づくりに力を入れていきたい。

A 市長 複雑多様な行政課題には、今後とも全庁体制で、部課を超えての連携を取り組みを進めていきたい。



のびのびと学び過ごせる環境が

A 都市整備部長 コミュニティバスの路線とダイヤは、ある程度網羅し、確保できている。現在、一定のニーズは満たしていると認識しているが、人口減少や過度なモータリゼーションなど、地域の公共交通を取り巻く環境は厳しい。将来にわたり、地域の公共交通サービスを確保するには、さ

らに効率的な移動手段の検討も必要である。昨年度策定した地域公共交通計画に基づき、バスの路線や運行形態などの見直しとともに、新たな移動手段の導入も視野に、本市の特性に合った費用対効果の高い地域の公共交通サービスの実現を目指していきたい。

A 産業文化部長 農業大学校では、5日間研修や走行練習を行い、6日目に技能・適性試験を受けることになる。年間6回、昨年は156人が受講し、女性の免許取得は全受講者の1割程度と聞く。免許取得に対する本市の支援制度はな

多く、選考から漏れた人が民間の自動車学校で取得することもある。

認定農業者や農事組合法人の農地集積の結果、大型機械の運用は経営に不可欠であり、免許取得費用に係る支援策を検討する必要がある。

地域の公共交通をどのように持続可能としていくか、喫緊の課題である。公共交通の空白地域を踏まえた移動手段と高齢者の運転免許証自主返納支援事業を組み合わせて移動手段を確保することが、一つの解決策となるのではないか。費用対効果の高い地域公共交通サービスについて、市の見解は。



武田孝三議員



市民のニーズを理解して…

持続可能な 地域公共交通を

農家支援 環境保全へと



香川 勝 議員



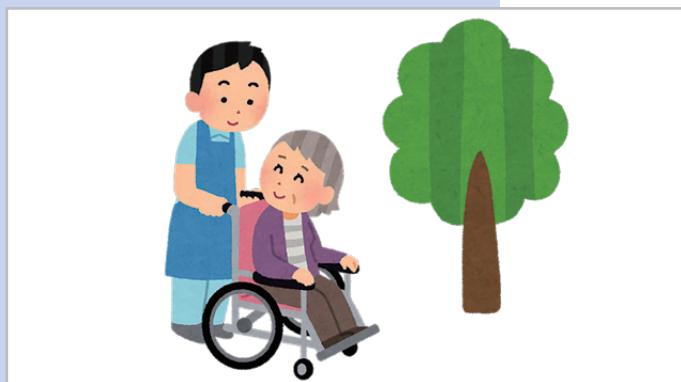
農業振興で守る 緑豊かな環境

介護現場を 希望ある職場に

Q



渡邊一馬議員



介護する人もされる人も 穏やかに



A

健康福祉部長 高齢者介護を支える人的基盤の確

介護保険がスタートして21年。コロナ禍の今、介護人材の不足はさらに深刻化し、休職や離職が相次いでいる。70歳を過ぎた介護従事者が1日20人以上の入浴介助をしている事業所もある。こうした状況の改善には、介護職の待遇を改善すべきだが、介護現場の実情をどのように認識しているのか。

国では、他業種と比較しての減少の影響と併せて、介護従事者の待遇面が指摘されている。

賃金や労働環境等を踏まえ、介護報酬の改定や、施設の労働環境に対する整備補助等、改善策を講じている。

市としても、その待遇が改善されていくことが必要であると認識している。

思いやり駐車場は、市役所の旧庁舎解体後の跡地に確保する計画であり、正面入り口のみを

利用頻度や優先度を勘案し、必要な改善を加えていきたい。

マルタス 利用を身边に

Q



内田俊英議員



市民交流活動センター「マルタス」

A

市民生活部長 本市がマルタスを公共施設として

整備した目的や運営方針・内容に疑問を抱かれる部分があることは認識しており、より効果的な情報発信に努めたい。

完了までの対応も検討したい。



健康福祉部長 高齢者介

護を支える人的基盤の確

保が課題となっている。今後の高齢者人口の増加や現役世代の

減少の影響と併せて、介護従事

者の待遇面が指摘されている。

市としても、その待遇が改善

されていくことが必要であると認識している。

自治会の 加入促進を

Q



守家英明議員



自治会への加入で 地域とともに

A **市民生活部長** 市では、連合自治会やコミュニティと連携し、自治会の必要性を粘り強く発信している。また、自治会加入推進員による未加入世帯への働きかけを積極的に行っている。令和元年に行つたアンケート調査をもとに作成した自治会加入促進マニュアルを市内の全自治会に配付し、市民に周知している。

条例として自治会の意義や目

的などを定義することは、自治会の重要性や活動への市民の理解が進み、加入促進への取り組みとなるが、自治会活動を負担と感じる市民も多く、その効果や内容は慎重に議論する必要がある。

他の自治体の事例を参考に調査研究とともに、引き続き加入促進に向けた取り組みを進めたい。

自治会の加入率は、毎年下がり続けている。自治会の加入促進に関する条例を制定する市町も増えているが、加入促進に向けた市の新たな取り組みは。



ゼロカーボンシティ 宣言後の取り組みは

Q



三宅真弓議員

A **市長** 国内の温室効果ガス総排出量のうち、事業者に起因するものがその大半を占めており、ゼロカーボンシティの実現には、事業者と一体となつた取り組みが不可欠である。

本市では、環境にやさしい事業所登録制度を設け、これまで環境に配慮した事業活動を推進

してきた。ゼロカーボンの実現に向けては、環境活動に積極的な事業者を中心に、さらなる協力をお願いする必要がある。

今後、理念や趣旨に賛同いただけるよう働きかけるとともに、施設や設備更新などの際には、環境負荷の低減に役立つ、実用的な情報を提供していきたい。

本市は、ゼロカーボンシティ宣言をしたが、事業者への呼びかけなど、宣言後の取り組みは。地球環境に配慮した持続可能なまちづくりを推進するには、具体的で実効性あるものでなければならぬが、いかがか。



これからどのように

子育て世帯へ 現物支給を

Q



角野仁美議員

A

健康福祉部長

本市では、コーパスかがわと包括連携協定を締結し、ミルクや食品などの子育て生活用品が自宅へ届く「はじめましてBOX」の無償提供により、赤ちゃんのいる家庭を訪問する際にチラシをお渡ししている。

他の自治体では、紙おむつ、粉ミルク、離乳食など、子育て用品を見守り支援隊が毎月自宅

子育て中、また子どもを産み育てようとしている人への力強い後押しが必要である。乳幼児を対象に、紙おむつ、粉ミルク、離乳食などの中から、3千円分を自由に選べる現物支給を行つてはどうか。



に届けたり、地元の紙おむつメーカーと協力して、紙おむつを無償提供したりするなど、子育て支援を行つてている。

こうした施策は、地域資源を活用し、企業と行政が協働で子育て世帯を応援する魅力的な取り組みであるが、月に3千円を上限とした現物支給の導入は、本市財政の現状を踏まえると難しい。



必要な育児支援は

A

健康福祉部長

ワクチン接種体制とPCR検査の拡充

ワクチン接種を安全で速やかに終わらせる体制と、感染拡大を防ぐPCR検査を並行して広げることを求めたいが、医療機関でのワクチン接種の進捗状況は。また、保育施設や学校、青い鳥教室等の施設では、せめてワクチン接種が終わるまで、定期的にPCR検査を実施していただきたいが、希望する従事者に対するワクチンの優先接種は。



順次実施する予定である。

また、感染リスクが高いと思われる施設でのワクチン優先接種は、保育所職員も含め、緊急に本市の対応を決定したい。

接種会場は、一日最大1,200人の大型接種会場を1か所常設する。医療機関での個別接種は、6月9日現在15か所であり、現在調整中の10か所でも

Q



中谷真裕美議員



安全で速やかに

離島からの通学 偏りなく負担軽減を

Q



東 由美 議員



島を出て暮らす学生もいます

A **市民生活部長** 牛島、手島、小手島から本土へ通学するには、島外に拠点を構える必要が生じるなど、保護者の経済的負担が大きくなっている。家賃補助を含めた離島高校生への就学支援は、離島への移

住・定住促進への効果も見込まれる。

国の離島高校生就学支援制度や同じ課題を持つ他市町の補助制度を参考に、本市の実情に応じた支援の方について具体的に検討したい。

島しょ部から定期船で通学する生徒に対し、高等学校生徒通学航路費補助制度がある。しかし、利用できる船便がなく、本土に下宿や転居して通学する生徒には、通学費用に関する補助制度はない。定期船で通学できない生徒に対し、定期乗船券の補助額に相当する家賃補助などを行なう考えはないか。



市民に寄り添う 市役所に

Q



神田泰孝 議員



市役所東側 思いやり駐車場

A **総務部長** 思いやり駐車場には、アクセントブレーキの踏み間違いが起きた際の被害軽減のために車止めを設置しており、位置の変更は難しい。

また、中央記載台の番号札は、案内係がお渡しすることにより、窓口の誤りや申請書の誤表示の追加や敷地内の案内表示の改善、標識の配色への工夫等は、現状把握を行い、わかりやすさと使いやすさの向上に努めたい。

新庁舎は、バージョンアップする必要がある。デザイン等も大切だが、行政運営の最適化、適正配置、経営の観点が重要である。分岐のわかりづらい車両入り口や、車いすの出し入れがしづらい思いやり駐車場、また、見えづらいトイレ標識、職員がいないと取れない番号札など、利用する市民や働く職員に寄り添い、使いやすい丸亀市役所であってほしい。今後の改善は。



三方一両損 市長の大岡裁きを

Q



水本徹雄議員



様々な声 市長はどう捉えたのか

A

市長

1万人を超える市民と対話を重ね、新型コロナウイルス感染症の影響により苦しむ人を目の当たりにし、選挙公約とした。

今回の提案は、現時点で考へられる最大限の金額として判断

市長は、全市民への10万円給付を選挙公約に掲げ、後に5万円に減額すると方針を示した。市民の反応は様々で、高齢者や医療従事者、石垣復旧対策に使ってほしいという意見もある。公約に掲げた理由と併せて、減額に対する市民の声を市長はどう感じているのか。



したものだが、やり切れない気持ちを感じずにはいられない。大変申し訳なく思っている。これから進めていく市政の中で、市民の理解や信頼を得られるよう、今後できる限り努力していきたい。

竹田	東	○神田
英司	渡邊	泰孝
山本	由美	○内田
直久	廣田	一馬
	角野	仁美
	勝也	俊英

広報広聴委員会

議会だよりの編集、議会ホームページや議会報告会など議会の広報広聴を担当。

◎委員長 ○副委員長



(後列左から)
渡邊委員 山本委員 廣田委員 竹田委員
(前列左から)
東委員 内田副委員長 神田委員長 角野委員

議会の動き

4・5・6月

24日 全員協議会
25日 広報広聴委員会
教育民生委員会協議会
28日 全員協議会

6月

1日 本会議
各派会長会
3日 本会議
広報広聴委員会
4, 7, 10, 11日 本会議
14日 教育民生委員会
都市環境委員会
15日 総務委員会
全員協議会
議会運営委員会
広報広聴委員会
18日 議会運営委員会
21日 本会議
市民会館整備特別委員会
都市環境委員会協議会
29日 教育民生委員会協議会

委員会審査

市長から提案された議案について、委員会ごとに審査しました。



の生活を守ることにもつながる
と考える。

審査結果

議案第39号は修正案可決。
その他の議案は原案可決。

教育民生委員会

■審査した議案 議案第39号

主な質疑

Q 委員 子育て世帯生活支援特別給付金の給付対象はどうか、確認する方法は。

A 健康福祉部 今行っているひとり親世帯への給付金と同じよう、市ホームページにフロー チャートを掲載し、簡易に確認できるようにしたい。

Q 委員 城東小学校の改築には、水害対策が課題となる。場所やかさ上げなど、関係者との協議をどのように進めるのか。

A 教育部 土木・建築に携わる学識経験者やコミュニティ、公的団体の代表者等で基本計画策定委員会を設けて協議していく。学校関係者等からも意見を

たい。

Q 委員 報道では、国内で最も古い丸亀高等女学校での女子サッカーの写真よりも古い写真が、九州で確認されたらしい。女子サッカーの聖地を掲げる本市として、今後の取り組みは。

A 市民生活部 本市は、女子サッカーの聖地として着実に発展している。さらなる盛り上がりを期待し、今後も環境整備や地元チームへの支援に取り組み

たい。

結果として、その経済効果が
被雇用者として市内で働く市民

審査結果

■審査した議案 議案第39号～41号

主な質疑

Q 委員 地域経済の活性化と市内小売店の売り上げ増加を目的に、キャッシュレス決済ポイント還元事業を行うのであれば、市内の小規模事業所のみを対象店铺とすべきではないか。

A 産業文化部 昨年より、商工

会議所と連携し、継続的にアンケート調査を行い、適宜適切に支援できるよう施策を考えている。

A ポートレース事業局 今年度、一般レース、GⅠ京極賞に加え、GⅡ全国ボートレース甲子園競走の開催により、総売上1050億円程度、今回の繰り出し後の利益として約11億円を見込んでいる。

令和4年度以降はSG開催を考慮せず、総売上970億円程度、利益として約50億円を見込んでいる。

利用者の利便性の観点から、大手企業やチェーン店も対象とし、多くの方に利用してもらいたい。

総務委員会

■審査した議案 議案第39号

主な質疑

Q 委員 今後の売り上げ見込みは。

A ポートレース事業局 今年度、一般レース、GⅠ京極賞に加え、GⅡ全国ボートレース甲子園競走の開催により、総売上1050億円程度、今回の繰り出し後の利益として約11億円を見込んでいる。

令和4年度以降はSG開催を考慮せず、総売上970億円程度、利益として約50億円を見込んでいる。

利用者の利便性の観点から、大手企業やチェーン店も対象とし、多くの方に利用してもらいたい。

議案第39号は修正案可決。
その他の議案は原案可決。

一般会計補正予算 修正可決

起立により賛成多数

〔歳出〕

新型コロナウイルス感染症対策費	64億1420万円 → 41億6020万円
(内訳) コロナ緊急経済対策特別定額給付金給付事業費	▲22億5400万円
	57億3000万円 → 34億7600万円
新型コロナウイルス関連事業所支援事業費	5億7420万円
子育て世帯生活支援特別給付金事業費	1億1000万円
財政調整基金積立金	22億5400万円

討論

〔原案・修正案に反対〕

横川 重行

理由 給付金や事業所支援は、
真に支援を必要としている人に
対して行うべき。

〔原案に反対・修正案に賛成〕

岡田 剛

理由 市民への支援は必要だ
が、5万円の給付が妥当である
とは判断したい。

〔原案・修正案に反対〕

内田 俊英

理由 格差が拡大する中、一律
給付に疑義がある。今回の給付金
は見送り、手法など再考すべき。

〔原案に賛成・修正案に反対〕

三宅 真弓

理由 給付金の申請は強制では
ない。各人が必要に応じて申請
できるようにするべき。

令和3年6月定例会 賛否が分かれた議案の審議結果

議案名	議員名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
			渡邊一馬	守家英明	角野仁美	中谷真裕美	東泰孝	神田由美	水本徹雄	岡田剛	廣田勝也	武田孝三	香川勝	横川匡文	川田勝	横川重行	加藤正員	大西浩	竹田英司	多田真弓	福部光廣	内田俊英	横田順穂	山本隼人	大前直久	真鍋正人
議案第39号 一般会計補正予算(第2号)(修正案)	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	◆	○	○	○

○は賛成、×は反対、-は退席した者です。

◆は議長のため採決には参加していません。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

市民に身近な議会となる
ような面白いアイデア
があれば、ぜひお知らせ
ください。

神田泰孝
広報広聴委員長

編集後記